

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	システマティックレビュー	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Interventions for basal cell carcinoma of the skin	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	B C C C Q 1 1 - 1	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I)	
	Pubmed ID	12804465	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cochrane Database Syst Rev.	
	雑誌 ID		
	巻		
	号	2	
	ページ	CD003412	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2003 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Bath FJ	The Cochrane Collaboration
その他著者 1		Bong J	同上
その他著者 2		Perkins W	同上
その他著者 3		Williams HC	同上
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の 6 項目	目的	基底細胞癌の治療法をシステマティックレビューする
	データソース	Cochrane Database
	研究の選択	病理学的確定診断がついた報告のみを選択
	データ抽出	報告の抽出は二人の独立したレビューアーにより行った
	主な結果	手術と放射線治療を直接比較したランダム化比較試験は 1 件のみ 手術後と照射後の局所再発のオッズ比：0.09 (95%CI 0.01-0.67) で手術療法が優れている（手術：1/174, 照射：11/173） 手術と放射線の整容性の比較（良好 手術 87% > 照射 69%） 放射線治療後は色素沈着と毛細血管拡張が出現（65% / 4 年） Cryosurgery は便利で安価（手術との局所再発率に差なし） オッズ比：0.23 (0.01-6.78) 放射線治療と cryosurgery で 1 年の局所制御率は照射が有意に良好 オッズ比：14.80 (3.17-69)
	結論	多くの試験はリスクの低い症例を対象とした報告であるが、手術と放射線治療が最も有効であり、再発率が低い。特に手術による局所制御率はより高い。他の治療も有用であろうが、手術との有用性の比較がなされていない。より悪性度の高い腫瘍に関してはランダム化比較試験が必要。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	鹿間 直人
	レビューワーコメント	コクランレビューで信頼度は高い。しかし、ランダム化比較試験は一つしかなく、この試験では放射線治療の方法が統一されていない。通常我々が行う放射線治療で、色素沈着と毛細血管拡張が 65% の症例に出現するのは考えがたい。 レベル I